

東京新聞 25面(専門)
2010年(平成22年)6月28日(月曜日)

盗撮自白「捜査官作文の疑い」

先妻尊妻更生の無事確定

最高法院判決來月國家賠償請求人

盗撮目的で女性に接する言ひ渡し、一月に確
音を立てるが分かる。性を否定。男性は来
た野呂芳子弁護士は
て、一書で有罪となつた。男性が盗撮を認
めた。月、精神的苦痛を受け
たアスベルガ障害のを供述調書について、たことで横浜地裁に
三十代男性・井奈川真高裁は「捜査官が監視
国家賃貸請求訴訟を起
に、東京高裁が無罪したが、作文した疑い
したが、作文した疑いです。
し、客觀証拠を顧みな
い検査が行われたこと
批判。訴訟で警視庁と

東京地檢による捜査・起訴の違法性を問う。男性が姦淫を疑われたのは一〇〇八年六月。都内の地下鉄駅のエスカレーターで、前にいた女性にひかられた。警察署で任意の取り調べを受け、身検作成され、都憲防衛条例違反(車わい行為)罪で在宅起訴された。	うこ答えたが、取り合ふべきはなかった」とつて書いた。筆主張だ。しかし筆主張は「筆東京西義は昨年三月、自白譯書のほか、然に貪り書きと並んである」ものである。この辺がどうえうらうい筆者たるところである。店に記録がないことをなどを指摘し、「言を置くことはできない」と断じた。	うの証言は姦淫を裏付ける証言と一致しなかつた。音と一致しなかつた。アスペルガー障害は広がる性発達障害の一類。自分の興味に集中しえきれないときには、言語の流れを解されやすい。男性の場合も、障害なかつたのは一審判決の宣讀が聞いたシャンシャンだった。
男性は裁判で「取り調べて調書の内容を遺した」として、在	は、男性をアスペルガー障害と診断した医師の意見書や証言を重視。通常の人より混乱してしまうこととして、在	音も、男性の持管